

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み	校区社協での取り組み
明るく住みよくなる御幸	健康で生きがいを持って暮らせる	高齢者・障がい児・者に関すること	高齢者の孤立防止と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らし高齢者の閉じこもりや孤立</li> <li>若い世代との世代間交流が少ない</li> <li>高齢者をターゲットにした詐欺による金銭被害</li> <li>地域行事への積極的な参加が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>閉じこもり傾向にある高齢者に対して、地域の各種団体と連携した支援</li> <li>地域の役員だけでなく、隣近所同士の声かけ</li> <li>地域行事への呼び掛け、周知（参加意欲が湧くような方法の検討）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区全体での敬老会の継続実施（参加方法の再検討）</li> <li>高齢者だけでなく、世代間交流を意識した行事の開催</li> <li>命のバトンを活用した見守りと支援</li> </ul>
			高齢者の体力維持と健康問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動や会話等できる場所が近場に少ない</li> <li>高齢者が気軽に相談できる場が身近にはない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が気軽に集まり簡単な体操、ゲーム茶話会等楽しめる機会の提供</li> <li>悩みを分かち合える環境を作る。高齢者の相談窓口の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい・いきいきサロン（きて・みて・かたらんね）の充実</li> <li>認知症及びその対応方法に対する学習会の開催</li> </ul>
			認知症高齢者に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者の増加</li> <li>認知症高齢者への対応がわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者がいる家族の交流会</li> <li>校区の諸々の相談機関と入居施設の周知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが参加できる（地域共生型）健康ウォークラリーの開催</li> <li>認知症カフェ（オレンジカフェ）と連携し、気軽に参加できる場づくり</li> </ul>
			障がい児・者に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児・者に対する差別や偏見がある</li> <li>障がい者の状況が把握しづらく、いざという時の支援が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児・者に対する正しい理解を深めるための取り組み</li> <li>障がい児・者に対する対応の方法を学ぶ機会をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心配ごと相談所設置に向けた準備を行う</li> <li>移動販売車のルートや住民が集まりやすい場所の検討</li> </ul>
			買い物等移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>免許返納後の買い物不安、車はあっても家族の反対で移動手段に困る</li> <li>移動手段がないと社会とのつながりが持ちづらい</li> <li>バス停までが遠く、バスに乗ることに抵抗がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動販売車の検討</li> <li>ゴミ出しや買い物支援など地域住民によるサービスへの取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者に対する正しい理解とその対応を学ぶ研修会の実施</li> <li>地域の事業所と連携した住民主体によるワンコインサービスの実施</li> </ul>
	地域で子どもを育てる	子ども・子育てに関すること	子どもの人権（いじめ、不登校、虐待、引きこもり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校といじめ、引きこもりが増加している</li> <li>子どもの相談場所が少ない</li> <li>子どもが地域で集まり、交流ができる機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの居場所づくりへの取り組み</li> <li>児童虐待防止に関する（オレンジリボン）研修</li> <li>子どもが参加できる地域交流の場の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子ふれあい遊びの内容の充実</li> <li>子育て、児童虐待防止に関する講演会の実施</li> <li>御幸小新入生と卒業生への記念品贈呈の継続実施</li> </ul>
			子ども・子育て世帯の見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護の観点から、情報収集が困難である</li> <li>子育て世帯の近所付き合いが希薄</li> <li>地域交流が少ないので子育て世帯が把握しづらい</li> <li>地域全体で子どもを見守るという意識の低下 家庭と地域が連携して子育てに取り組む環境とは言いづらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会への加入促進（参加することへのメリット、魅力のある行事の検討）</li> <li>保護者と地域との連携により子どもを見守り育てる</li> <li>地域住民による防犯運動の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と民間事業所が協力したあいさつ運動を実施する</li> </ul>
			子ども・子育て世帯の孤立と貧困問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯の実態が把握できない（個人情報保護により制約がある等）</li> <li>近所との交流が限定的である</li> <li>保育園、幼稚園を探すのが大変</li> <li>子どもが安心して遊ぶことができる場所が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親世帯への支援・情報提供</li> <li>待機児童が多く、虐待防止のためにも保育園をつくってほしい</li> <li>世代間交流の取り組みの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサークル（みるきいクラブOG）への相談会実施</li> <li>ひとり親世帯の情報交換会の実施</li> <li>子ども会やPTAと協力した行事の企画・実施</li> </ul>
	安全で安心して住める	災害に関すること	平常時における災害の備えと避難支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の情報共有が不十分</li> <li>地域の防災施設（調整池・ポンプ等）の老朽化</li> <li>要配慮者の実態把握が難しい</li> <li>危険地域の情報や地域防災情報が十分に周知されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害情報の提供と防災訓練の実施</li> <li>町内毎のハザードマップ作成状況の把握</li> <li>自主防災組織の構築、取り組みの強化</li> <li>災害時要援護者の実態把握</li> <li>災害時の役割分担 日頃から役割分担についてシミュレーションを行う（定期的の実施）</li> <li>減災・防災に関する研修への取り組み（子育て世代の参加しやすい企画）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災さんぽ（自宅から避難所まで実際に歩いて危険場所の確認）</li> <li>地域住民が参加しやすい体験的な防災研修を実施する</li> <li>HUG（避難所運営ゲーム）、DIG（災害図上訓練）、防災シミュレーションの実施等</li> <li>校区防災連絡会を中心とした防災組織の体制づくりを進める</li> <li>自主避難サポート事業との連携、民間事業所の活用及び連携強化</li> </ul>
			災害時における避難支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路が不明確（災害の種類や規模に応じた避難経路の検討）</li> <li>一時避難所（集合場所）の把握と指定避難所までが遠い</li> <li>大規模水害時の避難所の確保が難しい</li> <li>避難する場所が少なく地域住民が全員避難出来ない（コロナの影響で定員削減のため）</li> <li>避難所の定員に達した場合にの受け入れ可能な避難所情報の提供</li> <li>近くに川が多く、大雨時に不安がある</li> <li>災害時の避難場所の見直し</li> <li>御幸小まで行くのは、道幅も狭く危険を感じる（日吉東小、田迎西小への避難の検討）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難場所と避難経路の確認</li> <li>災害の種類に応じた避難場所を把握しておく</li> <li>災害時における要援護者に対して避難場所へ誘導する体制づくり</li> <li>正確な避難先、連絡先の確認及び周知</li> <li>自主避難サポート事業（旧高齢者SOSサービス事業）との連携</li> <li>隣接する小学校との避難所に対する協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハザードマップが完成していない町内への働きかけを行う</li> <li>要援護者名簿を活用した防災訓練（電話連絡含む）の実施</li> </ul>
			暮らし・人とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の各種団体の役員のなり手不足</li> <li>地域の役員（特に自治会）の若年層のなり手が少ない</li> <li>行政と地域団体との連携が不十分</li> <li>町内行事への住民参加が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップを発揮できる人材発掘及び組織の取り組み</li> <li>自治会地域役員の人材確保、候補となりそうな人材を地道に探す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「御幸校区人材OB」を活用した次期リーダーとなり得る人材の発掘・育成</li> <li>若い世代が入りやすい環境づくりを行う（Zoom会議、SNSの活用、バーベキュー等の楽しい地域行事の企画等）</li> </ul>
	環境と治安（ゴミステーション・騒音トラブルなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ出しのルールが徹底されていない</li> <li>ペットの糞尿の問題</li> <li>空き家・空き地の問題</li> <li>朝時間規制してあるが守らない車両（違反車）が多い</li> <li>新旧住民との交流の機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ出しマナーに対する説明会を子ども会や老人会での講座として開く</li> <li>自治会加入への周知（加入のメリットが伝わるような）</li> <li>地域住民による地域での旗振り（交通の安全確保）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふれあい収集」等と連携し、行政と地域が一体となった取組の検討</li> <li>空き家・空き地の実態把握とその活用の検討</li> <li>交通安全協会と連携した見守りの実施</li> </ul>		